

## 第125回 PAJ 作品検討会について

ポートレートアカデミーオブジャパン (PAJ) では毎回、作品検討会を行っています。時代にあった写真館ビジネスを展開する中で、肝心の「写真」とはどうあるべきなのか？ 顧客のニーズの更にその先に、どのような写真を提供できるのか？ フォトグラファーの自己満足だけでなく、お客様に選ばれる独自の価値観ある写真を撮っていくために、意見を出し合いながらメンバーのレベルアップを図っています。

今大会では、web 上での事前データジャッジと大会当日のプリントジャッジの両方を行います。皆様には、お忙しい中申し訳ありませんが、前もってデータを web 上、当日はプリント提出をして頂く様、よろしくお願い致します。そして全作品は本大会内において検討会を行うのでよろしくお願い致します。

作品検討会 担当副会長 原田 辰之  
作品検討委員会 委員長 仲嶺 真弥

### 記

1, 8月1日～8月11日が作品提出の期間になります。

テーマ 「人物を中心とした作品」(ポートレート作品)  
点数 一人3作品まで

大きさ 長辺が2,000ピクセルちょうどのjpeg画像  
ファイル名 「ローマ字名前\_番記.jpeg」例(nakamine\_01.jpeg)に変更してください。  
提出先 PAJの「DropBox」  
<https://www.dropbox.com/request/b6lyWOPuFY9TSMnVxWfb>  
※ 8月11日締め切り厳守です。メ切り以降は受け付けません。



2, 8月19日～26日でweb上のデータ作品審査をお願いします。

Google フォームにて審査をしていただきます。  
Google フォーム審査 URL は後日フェイスブックページで連絡します。  
4つのカテゴリに対して10点満点で評価してください。  
詳細はPAJのHome Pageでご確認ください。  
<https://portraitacademy.jp/sakuhin/>

3, 大会当日、各自プリントを持参して下さい。大会中にプリントジャッジを行います。

プリントサイズ(作品提示用)六切  
※作品の裏に両面テープを貼って持参して下さい。台紙はこちらで準備致します。

4, 9月8日の大会当日は「データプロジェクター投影」で作品検討会を行います

注意事項 1, 応募作品は、一般に公開しないようにお願いします。  
2, 録画、写真撮影は、禁じます。  
3, 写真は個人情報です。作品の取り扱いには十分ご注意ください。

9月7日	司会	谷友里江・野口陽平	9月8日	
13:00	開会宣言	堀光治	09:00	会員会議 木立泰史
	会務報告	木立泰史	10:00	作品検討会 原田辰之・仲嶺真弥
13:20	新人発表	阿部謙吉	13:00	会員発表1 藤田幸
13:50	New Version 作品審査法	原田辰之・仲嶺真弥	13:30	会員発表2 岡本昇
14:40	研究部門発表1 (M研)	金山一宏	14:00	会員発表3 中嶋秀磨
15:10	研究部門発表2 (H研)	秋葉亮介	14:45	メーカー発表1 最新モデルの紹介 FUJIFILM
15:40	研究部門発表3 (N研)	堀光治	15:00	メーカー発表2 VRレンズ Canon
16:30	VRで体感! メタバースの世界と写真館ビジネス	企画委員会・プレゼン室	15:15	メーカー発表3 最新モデルの紹介 SONY
18:10	懇親会	木立泰史	15:40	大会終了

# PAJ

Envisioning the Future

```
let theTitle = "PAJ 125th Meeting"  
let startDateTime = "2022-09-07 13:00"  
let endDateTime = "2022-09-08 16:00"  
let thePlace = "ホテル椿山荘東京"  
let hotelUrl = "https://hotel-chinzanso-tokyo.jp/"  
let theThema = "一歩先へ! 新時代を生き抜く写真館ビジネス Part2"  
do {  
  meeting()  
} until endDateTime
```

```
var entryFee = 0  
switch memberStatus {  
  case "会員同伴"  
    entryFee = 20000  
  case "会友"  
    entryFee = 15000  
  case "聴講者"  
    entryFee = 50000  
  case "シニア会員","メーカー・商社"  
    entryFee = 30000  
  case "報道(1名無料)"  
    entryFee = 10000  
  case "展示ブース"  
    let boothEntryFee = 20000  
    //8ブース限定先着分  
}
```

会長 堀 光治



参加申し込み <https://portraitacademy.jp/nextmeeting/>



実に5大会2年半ぶりの椿山荘開催です。今回こそ、リアルでみなさんにお会いできること、とても楽しみにしています。最近、急に耳にするようになった「メタバース」という言葉。Facebookが「Meta」と社名を変えて本格参入するなど、今メタバースが急速にビジネスで注目を集めています。ただ、「メタバース」は新しい概念なので、まだピンと来ないという人が多いのではないのでしょうか。今回の特別企画は、「VRで体感! メタバー

スの世界と写真館ビジネス」。メタバースとはどんなもので何ができるのか、そしてビジネスでは現在どんな活用例があるのか。あらゆるビジネスで注目される「メタバース」について、その概要と事例をご紹介します。そして既存の写真館ビジネスにどのような影響を与えるのか? 新しいビジネス展開につなげるためには? みなさんと一緒に研究していきたいと思えます。そして、2月に発足した研究部門は、いよいよリアル大会での初発表です。どうぞご期待ください。

# Canon

## キヤノン初のVRレンズ RF5.2mm F2.8 L DUAL FISHEYE

# FUJIFILM X-H2S

新開発の裏面照射積層型センサー  
高速画像処理エンジンを搭載  
「Xシリーズ」史上最高の  
高速連写・AF・動画性能を  
実現するフラッグシップモデル



# SONY

ソニーα新商品の動向のご紹介  
静止画動画ハイブリットな時代に移行し  
ている中、ソニーα新商品のご紹介およ  
びその技術トレンドなどをご紹介します

特別企画テーマ

「VRで体感！メタバースの世界と写真館ビジネス」

WEBの世界から急速に広がるメタバース。ゲームやエンターテインメント、教育や社会生活まで大きなインパクトをもたらす新しいデジタルの世界です。特別企画ではメタバースの基本知識から最新動向まで詳しく解説します。現在、PAJ役員により実験的に会議をメタバースのなかで行なっていますが、当日はVRゴーグルを使いメタバースの世界を会場で体験する時間も設けております。VR専用の撮影レンズをCanonさんから提供してもらい写真館ビジネスでの活用方法、VRレンズを使用した撮影事例をレポートします。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

薄田 和輝



松山 真彦



堀 光治



岡本 昇



印画紙からインクジェット  
そしてHDR ディスプレイへ

近年、HDR ディスプレイやHDR プリント法が開発され、広大な輝度域を持つ表示装置やメディアが現れています。HDR 再生に関する写真表現の可能性、写真館のビジネス展開および技術的な課題について検証します。

NewVersion 作品審査法

作品評価は、自分の経験と感覚を元に鑑賞し検討されます。良い写真というのは誰が見ても良い作品ですが、それだけで良いのでしょうか？個人や少数の主観的評価から、多数による客観的評価に変えることで作品の評価が可視化されます。その事で写真の価値を高める事が出来るのではないのでしょうか？

WPC グローバルジャッジシステムを参考にGoogle フォームを活用した作品審査を、提案させていただきます。

仲嶺 真弥



原田 辰之



知の探求 リベラルアーツがおもしろい！

リベラルアーツの中から哲学、音楽、美術などを中心に勉強し、アート感覚を研ぎ澄ましてビジネスを成功に導き人生を楽しく過ごす術を一緒に学びましょう！今回はニーチェの「ツァラトゥストラはかく語りき」を取り上げる予定です。

秋葉 亮介



フォト・アートワークチーム  
スタジオワークの「ちょい足しレシピ」

いつも撮影している場所やライティング、レタッチなどにちょっとしたアイデアを「ちょい足し」することで今までよりも少しい感じになったり、撮影やレタッチングが楽しくなったりします。誰でも簡単にできる「ちょい足しレシピ」を披露します。

中嶋 秀磨



金山 一宏



戦略的でない「複業」は、あり！？なし！？

昭和の時代、長男は家業（写真館）を引継ぐのが当たり前だった。平成15年～20年。DPも婚礼も激減。それから生花店、NPO法人、運送会社、林業、広島東洋カーブのオフィシャルカメラマン。将来の不安を消すために「動いた」。これからもワクワクが原動力。

阿部 謙吾



藤田 幸



事業再構築補助金を得て変革させる  
スタジオ経営の未来

昨年スタートした経済産業省の事業再構築補助金に挑戦しました。2度目の申請で採択を受け、交付決定を経て現在も当社事業の再構築計画が進行しています。私が目指した次世代のスタジオコンセプトは「バーチャル・プロダクション・スタジオ」です。今回は、何を考えどのように行動したきたのか、そして他では言えない補助金の間について発表いたします。

不易流行の写真館経営

不易流行というのは松尾芭蕉の俳諧思想です。【不易】というのは、変えてはならないこと、【流行】というのは新しいことを受け入れること、そのどちらも大切ということです。写真業界の技術、経営で不易流行の環境適応について発表します。

アフターコロナを生き抜くために  
クレーム対応の極意お教えします！

ストーリーテラーのクレームバスターとして数々の修羅場(!?)を経験してきました。何度経験しても慣れる物ではありませんが、これまでの経験で見てきた事、学んだ事、洗いざらいお話しさせていただきます！